

ちいちゃん、ありがとう

岡山県 赤磐市立城南小学校 五年

南部なんぼ 匠史たくみ

「タク、生まれたよ。妹じゃなくて弟だけど、かわいいがってね。今日からお兄ちゃんだよ。よろしくね。」

大好きなちいちゃんが、そう言いました。ほくは小さなベッドをそ——つと見ました。中には生まれたての、かわいいおサルさんのような小さな赤ちゃんが手をグーにして、スヤスヤねていました。ほくの弟、大陽君です。

ちいちゃんは、千鶴と言います。ほくの母の妹です。ほくが生まれてからずつとかわいがってくれて、一人っ子のほくには本当のお姉さんのような存在でした。そして、大好きなちいちゃんは、小さいころからお風呂に入れてくれたり、釣りに連れて行ってくれたり、ブルーインパルスを見に連れて行ってくれたり、ほくの大好きな恐竜の本やフィギュアを買ってくれたり、ほくには最高のお姉ちゃんです。

特に、ほくが怒りんぼの母に怒られている時は必ず、「そんなに怒らんでいいよ。」

「そのうち、宿題も片づけも自分でサッサと出来るようになるよ。」

と言ってくれます。ケンカをして泣かされて帰って来た時は、「今はやられていても、そのうちタクが強くなってポッコポッコに仕返してやればいいんだよ。」とはげましてくれたり、応えんしてくれます。

テストで百点をとった時は、

「タク、すごい。天才だね。」

と言って、百円をくれて、気前が良いです。そんなちいちゃんが二年前に結こんして、家を出しました。ほくは、なくてはならない大切なちいちゃんが側にいなくて、とつてもさびしくなると思っていました。けれどどこか、もつともっと楽しくなりました。なぜなら、新しいちいちゃんの家は、車で二十分の所で、だんなさんのでつくんは、ちいちゃんの五倍くらいやさしいお兄さんだからです。そのうえ、イケメンです。毎週末泊りに行くと、温泉に連れて行ってくれたり、帰りにはコンビニで三百円のアイスを買ってくれたりします。ちいちゃんが結こんして、最高のお兄ちゃんが出来ました。

そして、今年の五月十二日に、赤ちゃんが生まれました。ちいちゃんは、やさしいお姉ちゃんからお母さんになり、ほくをお兄ちゃんにしてくれました。それは、これまでもらったどんなプレゼントよりも、最高のプレゼントでした。今は反こう期のほくだけけど、小さな大陽君を見てみると、ほくも家族のみんなに、こんな風に大事に育ててもらってきたの思い出しました。大陽君が大きくなって歩けるようになったら、散歩に連れて行ったり、いっぱい遊んであげて、やさしくてカッコいいお兄ちゃんになりたいです。

ちいちゃん、本当にありがとう。